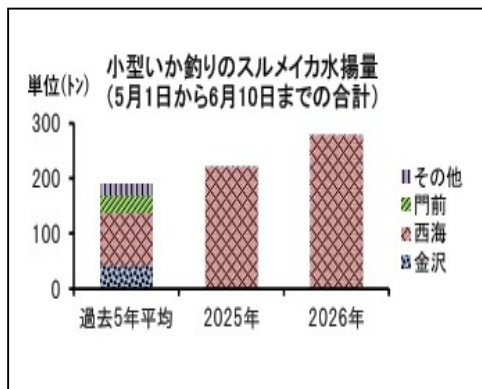


Yamaka Topics ヤマカトピックス

石川スルメイカ 状況



石川県水産総合センターによると、5月～6月10日の小型イカ釣りによるスルメイカの県内水揚量は278トンでした。前年（220トン）及び過去5年平均（190トン）を上回っています。能登半島地震で被災した港の復旧工事の影響で水揚げ漁港が西海、小木のみと限定されています。また、大きさは30尾、40尾入りが中心となっており、前年、および過去5年平均と変わらないサイズ構成となっています。

ウナギ動向（国産、輸入もの）



2025年のシラスウナギ漁が19年ぶりの豊漁年となり、日本の池入れの準備が間に合わない程、潤沢でした。同じく中国においても同じ状況で、今期、出荷サイズを迎えたウナギは弱含みで値ごろ感のあるものになったようです。しかしながら、飼料である魚粉の原料である、カタクチイワシがペルー沖のエルニーニョ現象の影響を受け漁獲量は大幅減。全面禁漁となり魚粉の価格は暴騰しています。ウナギの価格は下落は束の間、また上昇傾向になるとの見込みです。

8月の主な魚

魚種	県内産地
コソクラ	金沢、能登
岩カキ	能登、
アカカレイ	能登
バイガイ	珠洲
アカイカ	金沢、美川
サザエ	輪島、西海
トビウオ	美川、押水
スズキ	金沢



入荷状況&商品情報



8月一杯は底引き網が禁漁です。

刺し網、巻き網、定置網主体の入荷になります。今年も巻き網のブリの入荷はありますが少なめ。岩カキはお盆を境に量、質ともにピークを迎えます。（8月いっぱい 能登）

カレイやバイガイなどは刺し網で漁獲されます。バイガイの現在の入荷は島根産がメイン。（能登、珠洲）アカイカは九州産、地物入荷あり。中、小サイズ中心（美川、金沢）

サザエの入荷は潤沢です。今年はスズキも順調に入荷。価格も割安。焼き物などに。トビウオ（カクトビ）はあっさりとお刺身で。マルトビはフライなどで。（写真はカクトビ）



●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。